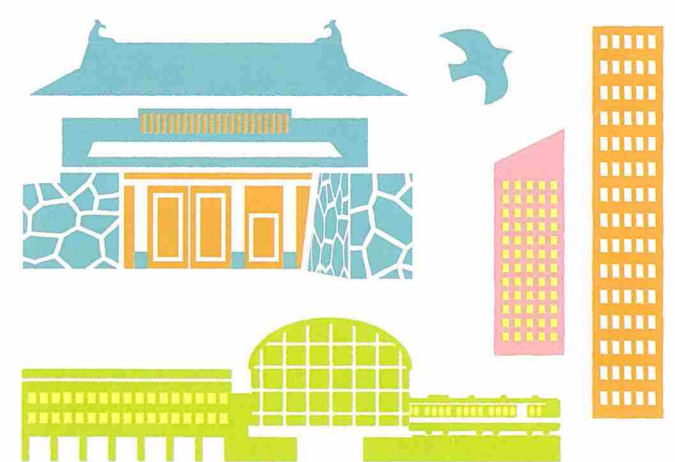


香川県立ミュージアム

THE KAGAWA MUSEUM EXHIBITIONS SCHEDULE

年間入ケジュール



APRIL 2023 > MARCH 2024

瀬戸内ギャラリー

れきみんで建築を楽しもう
※共催：(一社)香川県建築士会高松支部青年部会

7/22(土) ▶ 9/3(日)

当館(通称れきみん)は、モダニズムと地域性が融合した建築も見どころです。その建物で、子どもから大人まで楽しみながら建築にふれる展示やイベントを開催します。

香川県・東京藝術大学連携事業
瀬戸内海分校プロジェクト

海は人を愛する「くらしのうみ」展

10/27(金) ▶ 11/26(日)

東京藝術大学美術学部と連携して、「海は人を愛する」をメインテーマに、瀬戸内海の「くらし」をサブテーマとした美術展を開催します。地元高校生たちが、アーティストのリサーチや発想、制作、展示など、この美術展開催までの一連の流れを学びます。

香川県の職人写真展

12/16(土) ▶ 2024.2/25(日)

当館が昭和62-63年度に行った香川県諸職関係民俗文化財調査の際に記録された香川県の職人たちの姿を写真で振り返るとともに、現在の状況についても紹介します。

伝統と創造 讃岐のり染

暮らしを彩る ※協力：大川原染色本舗

2024.3/9(土) ▶

地域の風土の中で、土地の素材を活かしながら作られてきた日常の道具たち。その歴史や現況を調査し、創造を重ねながら今に息づく伝統の技を紹介します。今回は、獅子舞の油単や大漁旗、幟などで暮らしを彩ってきた讃岐のり染を取り上げます。

- 開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)
- 休館日 毎週月曜日(月曜日が休日の場合は、原則として翌火曜日)
年末年始(12/29~1/3)、
展示室清掃及び資料整理による臨時休館(9/4~15、11/27~12/8、2/26~3/4)
- 観覧料 無料
※団体等でのご利用の場合、ご希望があれば展示解説します(要予約)。
- 交通案内 JR高松駅から車で約25分・JR坂出駅から車で約30分
◎徳島方面から……………高松自動車道徳紙ICより車で約30分
◎岡山方面から……………瀬戸中央自動車道坂出北ICより車で約30分
◎愛媛・高知方面から……………高松自動車道坂出ICより車で約35分
いずれも県道高松王越坂出線の大崎ノ鼻経由
普通乗用車30台、大型バス可(無料)
- 駐車場

〒761-8001 香川県高松市電水町1412-2
TEL.087-881-4707 FAX.087-881-4784



<https://www.pref.kagawa.lg.jp/kmuseum/setorekishi/>

Kagawa Prefectural Cultural Hall

分館 香川県文化会館

文化芸術に親しみ、和む

県民ギャラリーのほか、芸能ホール、茶室などの施設を備え、各種展覧会、音楽、舞踊、茶会などの文化活動の場として広くご利用いただけます。



文化会館外観



県民ギャラリー



芸能ホール

- 利用時間 県民ギャラリー 9:00~17:00(金曜日は19:30まで)
芸能ホール・和室 9:00~22:00
◎利用のご予約を受け付けています。
お電話でお問い合わせください。

- 休館日 年末年始(12/29~1/3)
- 交通案内 JR高松駅から南へ1.5km
ことん瓦町駅から西へ1.2km
- 駐車場 香川県番町地下駐車場(有料)
高松市立中央駐車場(有料)

〒760-0017 香川県高松市番町1-10-39
TEL.087-831-1806 FAX.087-831-1807



10	11	12	2024 1	2	3
かがわ今昔 - 香川の歴史と文化 - 高松松平家歴史資料	かがわ今昔 - 香川の歴史と文化 - 高松松平家歴史資料	かがわ今昔 - 香川の歴史と文化 - 高松松平家歴史資料	かがわ今昔 - 香川の歴史と文化 - 高松松平家歴史資料	かがわ今昔 - 香川の歴史と文化 - 高松松平家歴史資料	かがわ今昔 - 香川の歴史と文化 - 高松松平家歴史資料
9/15~12/10 食を支えた昔の道具	9/15~12/10 食を支えた昔の道具	9/15~12/10 食を支えた昔の道具	1/2~1/28 寿ぎの美	2/3 讃岐の武者 - 室町・戦国時代を中心に	讃岐の武者 - 室町・戦国時代を中心に
9/15~12/10 アート・コレクション あかりとノグチ	9/15~12/10 アート・コレクション あかりとノグチ	9/15~12/10 アート・コレクション あかりとノグチ	1/2~2/25 アート・コレクション 古都の風景	1/27~ 香川の建築アーカイブ	3/5~ アート・コレクション ボンマカシ - ケンゾウへのオマージュ
弘法大師空海の生涯と業績	弘法大師空海の生涯と業績	弘法大師空海の生涯と業績	弘法大師空海の生涯と業績	弘法大師空海の生涯と業績	弘法大師空海の生涯と業績
10/7~11/26 映画のレシビ	10/7~11/26 映画のレシビ	10/7~11/26 映画のレシビ	1/27~ 香川の建築アーカイブ	1/27~ 香川の建築アーカイブ	香川の建築アーカイブ
10/21~11/26 前館50周年記念展 歴史コレクション展I 瀬戸内を集める	10/21~11/26 前館50周年記念展 歴史コレクション展I 瀬戸内を集める	10/21~11/26 前館50周年記念展 歴史コレクション展I 瀬戸内を集める	1/27~1/21 第70回 日本伝統工芸展	1/13~3/24 前館50周年記念展 歴史コレクション展II 家と人のコトを集める	1/13~3/24 前館50周年記念展 歴史コレクション展II 家と人のコトを集める
10/27~11/26 香川県・東京藝術大学連携事業 瀬戸内海分校プロジェクト 海は人を愛する「くらしのうみ」展	10/27~11/26 香川県・東京藝術大学連携事業 瀬戸内海分校プロジェクト 海は人を愛する「くらしのうみ」展	10/27~11/26 香川県・東京藝術大学連携事業 瀬戸内海分校プロジェクト 海は人を愛する「くらしのうみ」展	12/16~	12/16~	12/16~
臨時休館 11/27 休館 12/12	臨時休館 11/27 休館 12/12	臨時休館 11/27 休館 12/12	臨時休館 12/26 休館 1/3	臨時休館 2/26 休館 3/3	臨時休館 2/26 休館 3/3

※新型コロナウイルスの感染状況等によりスケジュールや展示内容が変更になる場合があります。詳細は香川県立ミュージアム、瀬戸内海歴史民俗資料館のホームページをご覧ください。

Visitor Information
香川県立ミュージアムご利用案内

- 開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)
- 休館日 毎週月曜日(月曜日が休日の場合は、原則として翌火曜日)、12/11～1/1
資料整理・展示替え作業による臨時休館(6/16～21、7/11～13、7/21～23、9/4～14、2/26～3/4)
※特別展開催中は、月曜日が開館となる場合があります。
詳細は「ミュージアム年間カレンダー」をご覧ください。
- 観覧料 (常設展) (歴史展示室・常設展示室) 一般410円、一般団体(20人以上)330円
(特別展) 展覧会により異なります。
※特別観覧券で常設展がご覧いただけます。
※高校生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方は無料
(当館受付にて証明するものをご提示ください。)
○5/18(木)「国際博物館の日」は観覧料が無料になります。
○お得なミュージアムパスポートあります。
一般3,130円/高校生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方1,040円
※有効期間中(1年間)は歴史展示室と常設展示室を何回でもご覧いただけます。
※当館が主催する特別展は、会期ごとに1回ご覧いただけます。
(本人2回目以降半額、同伴者1人半額)
※当館の旬な情報をお届けします。
○ミュージアム法人特別観覧券があります。
1冊(30枚綴り)20,370円
※当館の旬な情報をお届けします。
- 交通案内 JR高松駅から東へ900m
ことでん高松築港駅から東へ800m
ことでん片原町駅から北へ500m
ことでんバス(県民ホール前)から南へ200m
◎岡山・愛媛・高知方面から=高松自動車道高松西により車で約30分
◎徳島方面から=高松自動車道高松中央により車で約25分
◎高松空港から=JR高松駅までリムジンバスで35分
地下駐車場(普通乗用車50台)
利用時間/9:00～22:00(原則開館日のみ) 使用料/25分ごとに100円
高さ制限2m以下
別に大型バス3台駐車可能(事前申込必要)
※近くに香川県玉藻町駐車場(有料)があります。
- 駐車場



THE KAGAWA MUSEUM
香川県立ミュージアム
〒760-0030 香川県高松市玉藻町5番5号
TEL.087-822-0002(代表) FAX.087-822-0043
https://www.pref.kagawa.lg.jp/kmuseum/kmuseum/

香川県立ミュージアム 各種プログラム

知的好奇心をそそる、大人から子どもまでのさまざまなプログラムをご用意しています。

- 講演会、講座 歴史、民俗、美術にわたるさまざまなテーマからお話します。
- ミュージアムトーク 職員が資料や作品を前にしながら、展示のみどころについて解説します。
- ワークショップ 香川県の伝統工芸やアートなどの制作にチャレンジ! おとな向け、子ども向けのメニューがあります。
- 特別展などでの各種イベント 見るだけでなく、聞いて、つくって、展覧会がさらに楽しめます。
- ボランティアによるトークや解説、ワークショップ 当館ボランティアが歴史や美術の鑑賞をサポートします。ボランティアが企画するワークショップもあります。

●ミュージアムショップ&カフェ
ミュージアムショップでは、オリジナルグッズや特別展テーマに合わせた限定グッズを取り揃えています。そして、鑑賞の後はカフェでゆったりとしたひとときを。ご来館のりにぜひお楽しみ下さい。

ミュージアムショップ カフェポット ミュゼ

	2023 4	5	6	7	8
歴史展示室			かがわ今昔ー香川の歴史と文化ー		
常設展示室 1	2/4～4/9 小さきもの たちの世界	高松松平家歴史資料		高松松平家歴史資料	
常設展示室 2	アート・コレクション 2/14～5/14 DREAM LAND ー猪熊弦一郎と川島猛		アート・コレクション 5/16～7/10 20世紀の美術ーあこがれの地を訪ねる		7/14～9/3 夏休み子どもミュージアム このトリなあに?
常設展示室 3	弘法大師空海の生涯と事績				
常設展示室 4・5	1/24～4/16 アート・コレクション 生誕140年 藤川勇海	4/22～6/11 アート・コレクション 平山郁夫ー祈りの讃歌をゆく		第87回 香川県美術展覧会 1期【絵画・立体】7/4～7/10 2期【工芸・写真】7/14～7/20 3期【書】7/24～7/30	
特別展示室	4/22～5/21 空海ー史上最強、讃歌に輝いた不滅の巨人				
テーマ展	7/15～9/3 開館50周年歴史ボランティア企画 我が家の思い出モノ語りーモノ・コト・ヒトが紡ぐ50年ー				
瀬戸内ギャラリー	7/22～9/3 れきみんで建築を楽しもう				

Seto Inland Sea Folk History Museum

分館 瀬戸内海歴史民俗資料館

開館50周年 瀬戸内の人々のくらしや文化を知る
瀬戸内海が一望できる五色台の山頂に位置し、石積みの外観は古城をイメージさせ「日本建築学会賞」などを受賞。展示室は瀬戸内のくらしと文化をたどる回廊式で、木造船をはじめ、漁撈用具や船大工道具など、瀬戸内のくらしの道具(民俗資料)を中心に展示しています。開館50周年を記念して、展示のほか、シンポジウムなどを開催します。

瀬戸内海歴史民俗資料館

テーマ展
開館50周年歴史ボランティア企画
我が家の思い出モノ語りーモノ・コト・ヒトが紡ぐ50年ー

7/15(土) ▶ 9/3(日)

当館が開館して50年、この間、時代は昭和から平成、令和へと変わり、道具や生活は総じてアナログからデジタルに、そして地域社会も少子高齢化が進みました。モノ・コト・ヒトが織りなす社会やくらしの変化を、身近な我が家の思い出という視点から振り返り、この50年を見つめなおします。

各家庭で愛用された家電製品

開館50周年記念展
歴史コレクション展I 瀬戸内を集める 10/21(土) ▶ 11/26(日)

当館は広域資料館として県内だけでなく瀬戸内海全域から資料を収集展示し、中でも漁撈用具、船大工用具、背負運搬具は国の重要有形民俗文化財に指定されています。開館50周年にあたり、指定文化財を中心に50年間の収集の歩みをふり返ります。

瀬戸内各地から収集した船(第1展示室)

開館50周年記念展
歴史コレクション展II 家と人のコトを集める 2024.1/13(土) ▶ 3/24(日)

開館以来50年間、地域資料館として行ってきた資料収集の成果を概括します。また、核家族化が進み電気製品やプラスチック製品などに囲まれた現代生活において、個人や家に焦点を当てたこれからの民俗資料の収集について考えます。

戦後の洋裁型紙の束

特別展

特別展示室

弘法大師空海生誕1250年記念特別展

空海 一史上最強、讃岐に舞い降りた不滅の巨人

4/22(土) ▶ 5/21(日) ◎一般:1,200円 前売・団体:1,000円

讃岐国多度郡の人、空海。

中国・唐から、インド伝来の密教を日本にもたらし、日本の歴史や文化に大きな影響を与えた、空海。

本展では、空海その人のぬくもりを随かに伝える名宝をはじめ、空海への強い思慕のもと、弘法大師信仰の広まりのなかで創出され継承されてきた御影や物語絵などの作品、そして県内を中心とした各寺院などに伝わる華麗で多彩な密教美術の優品を紹介しします。

国宝10件、重要文化財15件、地方指定文化財7件を含む全60件の作品を一挙公開します。ここ香川で、空海その人に思いを馳せてみませんか。



国宝 諸尊仏龕 金剛峯寺蔵
画像提供:高野山霊宝館
[4/22~5/7展示]



国宝 金銅錫杖頭
善通寺蔵
[5/9~5/21展示]



香川県指定有形文化財
稚児大師像 興田寺蔵



国宝 三十帖冊子
仁和寺蔵
[場面替あり]

特別展示室+常設展示室4・5ほか

第87回 香川県美術展覧会(県展)

1期 絵画・立体 : 7/4(火) ▶ 7/10(月)

2期 工芸・写真 : 7/14(金) ▶ 7/20(木)

3期 書 : 7/24(月) ▶ 7/30(日)

◎一般:750円 前売・団体:600円 □会期中無休

香川県美術展覧会は公募による美術展覧会です。第87回展では、絵画・立体・工芸・書・写真の5部門で作品を募集します。現代のアートシーンは、多彩な表現にあふれています。素材や技法にしばられることのない、意欲的な作品をご覧ください。



第86回香川県美術展覧会会場風景

特別展示室+常設展示室4・5

映画のレシピ

10/7(土) ▶ 11/26(日) ◎一般:800円 前売・団体:650円

あなたにとっての忘れられない映画、映画音楽が奏でる極上の調べ、120年以上前に誕生した映画の知られざる歴史、撮影や編集におけるさまざまな映像技法、香川県内の映画館の記憶……。

映画の楽しみ方は、千差万別。

本展では、ポスターやパンフレット、レコードといった身近なものから、100年前のシネマトグラフ、映像、台本、雑誌など貴重な資料を展示します。今秋、映画の世界に思いを巡らせてみませんか。



駒田好洋地方興行用ポスター
早稲田大学坪内博士記念演劇博物館蔵



ライオンカン映写機

特別展示室+常設展示室4・5ほか

第70回 日本伝統工芸展

2024.1/2(火) ▶ 1/21(日)

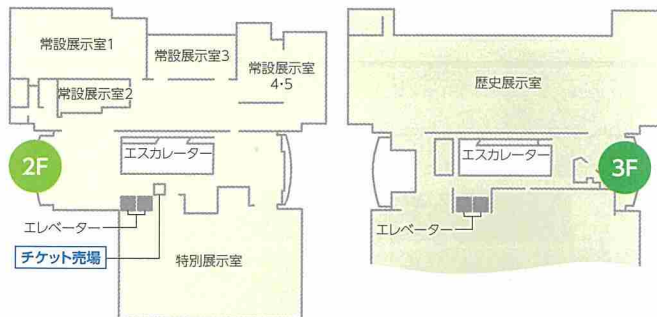
◎一般:650円 前売・団体:520円 □会期中無休

先人の有する優れた工芸技術を受け継ぎながら、今日に即した新たなものを生み出す、伝統工芸の粋が集う展覧会。陶芸・染織・漆芸・金工・木竹工・人形・諸工芸の7部門の、重要無形文化財保持者(人間国宝)の作品、受賞作品、四国在住作家の入選作品などを展示します。



第69回日本伝統工芸展会場風景

フロアガイド



常設展

常設展示室1

国宝 藤原佐理筆詩儀紙
高松平家歴史資料
[4/15~5/21公開]

高松平家歴史資料コーナー *

高松12万石を治めた大名高松平家に伝来する国宝や重要文化財をはじめとする名宝の数々や大名・華族の暮らしや文化を物語るさまざまな歴史資料を紹介しします。



小さきものたちの世界 2/4(土) ▶ 4/9(日)

小さいものを愛する想いは、古くから人々の心に受け継がれてきました。高松平家12代頼寿が遺した鉢や飾台など小品盆栽を彩る逸品をはじめ、当家所用の雑道具など小さきものたちの世界を紹介しします。

多度津藩政資料を読む 一多度津藩の引越し 4/15(土) ▶ 7/10(月)

藩政資料とは、藩庁で作成された公的な記録類をいいます。香川県内でまともに残っているのは多度津藩のもののみで、668点あります。本展では、藩政資料を読み解くなかで見えてきた、多度津藩庁の移転について紹介しします。



多度津藩政資料

夏休み子どもミュージアム このトリなあに? 7/14(金) ▶ 9/3(日)

生物学的な正確さと、絵画としての優美さをそなえた「高松平家博物図譜」(香川県指定有形文化財)のうち、鳥類を集めた「家禽画譜」に描かれる鳥、また江戸時代の絵画作品に描かれる鳥を紹介しします。いったいどんな鳥が描かれているのでしょうか?



家禽画譜
高松平家歴史資料

食を支えた昔の道具 9/15(金) ▶ 12/10(日)

食をテーマに昭和時代の道具を紹介しします。調理道具はもちろん、食卓を明るくしてくれたラジオやテレビなども登場しします。小学校の社会科や総合的な学習の時間にもご活用いただけます。



電気炊飯器

ことば 寿ぎの美 2024.1/2(火) ▶ 1/28(日)

正月の特別展「日本伝統工芸展」の開催にあわせた企画。高松藩主9代頼恕、10代頼胤の御用をつとめた讃岐漆芸の祖・玉緒象谷(1806~69)の漆芸作品をはじめ、寿ぎの晴れやかな季節にふさわしい、高松平家伝来の品々を中心に紹介しします。



香川県指定有形文化財
玉緒象谷「堆朱鼓箱」
高松平家歴史資料

むしゃ 讃岐の武者 一室町・戦国時代を中心に 2024.2/3(土) ▶

室町時代には、讃岐を支配した細川氏のもと、守護代や家臣となった讃岐国の武者たちがさまざまな活躍を見せました。収蔵資料から古文書を中心に、室町・戦国時代における讃岐の武者たちについて紹介しします。



畷町船連歌(部分)

★印は定期的に展示替えを行います。

常設展示室2 アート・コレクション

DREAM LAND 一猪熊弦一郎と川島猛

2/14(火) ▶ 5/14(日)

本県出身の猪熊弦一郎(1902~93)と川島猛(1930~)はともにニューヨークに渡り、猪熊は1955年から20年、川島は1963年から約半世紀の間、同地で創作を繰り広げました。二人の作品から、夢と希望にあふれる自由闊達な空気をお楽しみください。

20世紀の美術 一あこがれの地を訪ねる 5/16(火) ▶ 7/10(月)

戦前にフランスを訪れた猪熊弦一郎、戦後、フランスで暮らし描き続けた木村忠太(1917~87)、イタリアで活躍する平田ゆたか(1944~)など、ヨーロッパやアメリカにあこがれた香川ゆかりの作家たちの作品を中心に紹介します。



木村忠太「フランスの風景」

夏休み子どもミュージアム 動物図鑑 7/14(金) ▶ 9/3(日)

猪熊弦一郎の「月と猫達」や市村力(1910~2007)の「鳩」など、動物が登場する作品を紹介します。子どもも大人も楽しめる、いろいろな動物表現とワクワクするような作品の世界をお楽しみください。

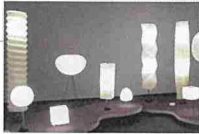


猪熊弦一郎「月と猫達」

1953年 © The MIMOCA Foundation

あかりとノグチ 9/15(金) ▶ 12/10(日)

20世紀を代表する彫刻家、イサム・ノグチ(1904~88)は、彫刻をはじめ空間デザインから家具づくりまで豊かな創造を展開しました。本展では、1951年に岐阜提灯との出会いを機に生み出した、光の彫刻「あかり」を紹介します。



イサム・ノグチ「あかり」

古都の風景 2024.1/2(火) ▶ 2/25(日)

長い歴史の中ではぐくまれた都。その姿はしばしば作品のテーマとも取り上げられました。香川ゆかりの樋笠数慶(1916~86)や鎌倉秀雄(1930~2017)らが描く、四季に彩られた寺の風景、華やかな舞妓の姿などを紹介します。



樋笠数慶「聖域」

ホンマタカシ 一ケンソウへのオマージュ

2024.3/5(火) ▶

丹下健三の生誕110年にあたり、写真の芥川賞ともいわれる「木村伊兵衛写真賞」受賞者のホンマタカシ(1962~)撮影による丹下の建築写真などを紹介します。



ホンマタカシ「香川県庁舎(ヒロティ)」

常設展示室3

弘法大師空海の生涯と事績 ★

京都東寺の灌頂院をモデルにしつらえた展示室。空海の生涯を中世に描かれた絵巻の流れにそって紹介し、館蔵資料とともに国宝、重要文化財などの貴重な資料を忠実に写した複製資料で空海の事績をたどります。



両界曼荼羅と五大尊 展示風景

常設展示室4・5

アート・コレクション

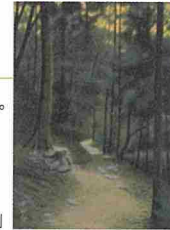
生誕140年 藤川勇造 1/24(火) ▶ 4/16(日)

本県出身の彫刻家、藤川勇造(1883~1935)は、渡仏してロダンの傍で学び、帰国後は二科会彫刻部の創立に携わるなど、日本の近代彫刻史に足跡を残しました。本展では、藤川が追い求めた表現に迫ります。

アート・コレクション

平山郁夫 一祈りの讃岐路をゆく 4/22(土) ▶ 6/11(日)

空海ゆかりの霊場を巡る四国遍路は、今なお人々の姿が絶えません。日本画家の平山郁夫(1930~2009)は香川県を訪れ、遍路道や寺社を描きました。本展では、大作「黎明讃岐路四国霊場八十八番大窪寺」をはじめとする香川の風景を紹介します。



平山郁夫「讃岐路」

新収蔵品展 8/4(金) ▶ 9/24(日)

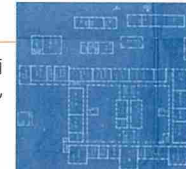
平成30年度以降に当館で新たに収蔵した、さまざまな歴史、民俗資料や近現代美術作品を紹介します。



石井馨堂「狹真影 堆朱硯箱 菊鳳凰之図」

香川の建築アーカイブ 2024.1/27(土) ▶

当館はこれまで香川の建築をテーマに展覧会を開催し、図面や写真などの関連資料の収集も進めてきました。近年収集した設計や建築に関わる資料調査の成果の一端を紹介します。



香川県庁舎 平面青焼き図(部分)

歴史展示室

かがわ今昔 一香川の歴史と文化一 ★

原始、古代、中世、近世、近現代の時代順にコーナーを展開し、香川の歴史をわかりやすく紹介。大型の展示物や映像で、それぞれの時代の雰囲気も実感しやすくなっています。



縄文の森と弥生の住居

2023	4 April	10 October											
sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat	sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
						1	1	2	3	4	5	6	7
2	3	4	5	6	7	8	8	9	10	11	12	13	14
9	10	11	12	13	14	15	15	16	17	18	19	20	21
16	17	18	19	20	21	22	22	23	24	25	26	27	28
23	24	25	26	27	28	29	29	30	31				
							5 May	11 November					
							sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
							1	2	3	4	5	6	
							7	8	9	10	11	12	13
							14	15	16	17	18	19	20
							21	22	23	24	25	26	27
							28	29	30	31			
							6 June	12 December					
							sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
							1	2	3			1	2
							4	5	6	7	8	9	10
							11	12	13	14	15	16	17
							18	19	20	21	22	23	24
							25	26	27	28	29	30	
							7 July	1 January					
							sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
							1	2	3	4	5	6	
							7	8	9	10	11	12	13
							14	15	16	17	18	19	20
							21	22	23	24	25	26	27
							28	29	30	31			
							8 August	2 February					
							sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
							1	2	3	4	5	6	
							7	8	9	10	11	12	13
							14	15	16	17	18	19	20
							21	22	23	24	25	26	27
							28	29	30	31			
							9 September	3 March					
							sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
							1	2				1	2
							3	4	5	6	7	8	9
							10	11	12	13	14	15	16
							17	18	19	20	21	22	23
							24	25	26	27	28	29	30

*ミュージアムの開館・休館日を表記しています。